

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラブ大田原校		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多世代且つ、少人数での交流ができる機会の提供。	・家庭と学校以外の“居場所”となるような雰囲気作り。	・子供同士の相性も考慮しつつ、交流するメンバーが固定されないようにする。 ・子供の得意なこと、好きなことも尊重しつつ、初めてのことに挑戦できるようなプログラムの提案。
2	・活動できる場所が多いことで子供たちの選択肢が増える。	・特に土日祝、長期休暇は長時間利用となるため、様々な場所での活動の機会を設け、心身の健康や年齢に合わせた運動量が確保できるようにしている。	・個人の活動場所が固定されないように、各場所での活動内容を固定せず、柔軟にプログラムを組む。(空き地でサッカー→宝探し、アスレチックで運動→ボードゲーム等)
3	・保護者とのコミュニケーションにも重きを置いている。	・保護者に安心感を持ってもらえるような情報共有の方法を常にアップデートしている。	・保護者会の開催 ・子育てなどに関する講習会の開催や案内

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部機関(学童、他の放デイ等)との交流の不足。	・開所初年度で、日々の業務に注力しているため、考えが至っていないかった。	・他機関との会議の機会で、どのような工夫がなされているかをヒヤリングする。 ・同法人内にある学童との交流を定期的に設ける。
2	・保護者同士の交流や情報交換会の開催ができていない。	・開所初年度で、日々の業務に注力しているため、考えが至っていないかった。 ・開催のためのノウハウについての情報収集不足。	・他機関との会議の機会で、どのような工夫がなされているかをヒヤリングする。 ・スタッフの他事業所見学。
3			

公表 等からの事業所評価の集計結果

事業所名 クラブ大田原校

公表日 2026/3/31

利用児童数 23名

回収数 13

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				○室内アスレチックがリニューアルされ、より子供が楽しめるようになりました。 室内なので天候に左右されずに遊べるところがとてもいいと思います。 ○室内にいくつか部屋があり、活動に応じて近くの広場を利用したり、調理の際は別の場所など、沢山の活動の場所があり、充実していると思います。 ×急に迎えに行こうと思った時にその時間にいる場所が分からなかったり、電話をしても対応がない時があり、少し困りました。	業務用携帯端末へワンリードを導入 →事業所の事務室以外でも定期的に保護者からのチャットを確認する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2	○必ずどなたかが対応して下さり、安心して子ども過ごさせております。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			3	○娘が過ごしたい場所、安心して過ごせる場所で過ごさせていただいております。その都度、意見を聞いてくれており、感謝しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1	○いつもきれいに整理されており、活動に応じて過ごしやすい工夫がされていると思います。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12			1	○娘の気持ちを確認しながら、無理強いせずに気持ちに沿った対応をして下さりありがとうございます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				○娘のことを理解し、対応していただいております。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1	○十分されています。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1	○十分されています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11			1	○日によって活動内容を変えて、時に子のやりたいことを受け入れ活動させてもらえるので、毎回新鮮な気持ちで過ごしております。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11			1	○まだ把握しきれていないだけで、交流もあると思います。今後少しずつ知っていければと思っています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				○丁寧に説明していただきました。		
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			6	○把握していないけれど、これから知っていければと思います。		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11			1	○送迎時にその日の様子を細かく伝えてくださったり、日報でより詳しく知ることができ、ありがとうございます。何かあればこちらからも伝えていきます。 ○送迎時に今日の出来事、できるようになったことなど教えていただいています。 ○困った時に、すぐ相談に乗ってもらえてとても助かりました。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			1	○何度か話はさせていただいております。まだ、利用回数も少ないので、これから助言などたくさんいただく機会も増えるかと思えます。 ○まだ利用し始めたばかりなので評価が難しいです。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			1	○職員の皆様、一人一人がとても優しく、娘の気持ちに寄り添った対応、支援をしてくださっています。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1		5	○把握していないけれど、色々なイベントなどあるのだと思います。まだ、子どもが慣れていないので、今後少しずつ知って行ければと思っています。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1	○対応して下さっています。		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					○十分されておりま。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13					○十分されておりま。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1	○配慮して下さっています。		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			5	○ケガ、事故などに対しては説明いただきました。		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		3	○把握はしていませんが、されていると思います。		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			3	○十分行われております。		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				○ケガをしてしまった時の状況説明や、ケガをしてしまった後の症状の確認等とても丁寧に対応いただいています。 ○十分されていると思います。		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				○安心して通っております。		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				○毎日楽しく通所しています。帰宅後、楽しかったことを笑顔で話してくれます。 ○時に、コミュニケーションがうまくいかなかったりした時などは戸惑うこともありますが、少し時間を置くことで、また楽しみに通っております。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				○いつも楽しいレクリエーションを考えていただき、子どもはとても楽しく通所していますので、親は安心します。職員の方々が子供にも保護者にも親切でえんがおパークに通所できてとても満足しています。 ○満足しております。逆に、事業所の教材に取り組みおらず心配になります。 ×苦手な勉強について、もう少し一緒に見ていただきたい。	苦手な内容の理解を促しつつ、苦手意識の軽減や集中力の持続も併せて行う。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		クラブ大田原校				公表日	2026/3/31
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・建物の構造上、視(め)が届かないところがある(死角)。その場所をスタッフが把握しておくことで対応している。 ・スケジュールの不透明さにもう少しフォーカスできるといい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		使ったものの“帰る場所”が決まっていない。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		わからない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討を行っているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			